

2023

3

March
No. 361

広報みしま

福島県
大沼郡
三島町

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

Mishima Town Public Relations



第50回雪と火のまつり 「オンぺづくり」

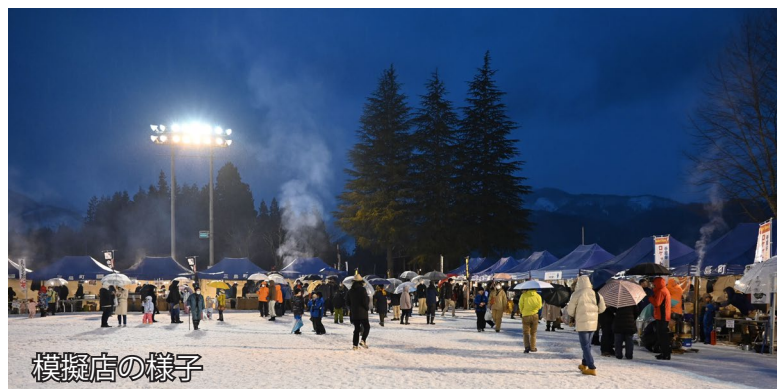
2月10日に第50回雪と火のまつりに向けた「オンぺづくり」が三島中の生徒の皆さんにより行われました。大登地区の方々にご指導いただきながら、自分の背丈ほどに長いオンペと、今年の抱負や願いを込めた文字を毛筆でたくさん書き、当日、自分たちで作りあげたサイノカミに飾りました。(P2 参照)

主な内容

第50回雪と火のまつり	2～3
まちの話題	4～5
町民記者	5
令和4年度 地域おこし協力隊活動報告	6～7
空き家コラム	8
など	



団子さしの再現



模擬店の様子



雪上イベントの様子（パン食い）



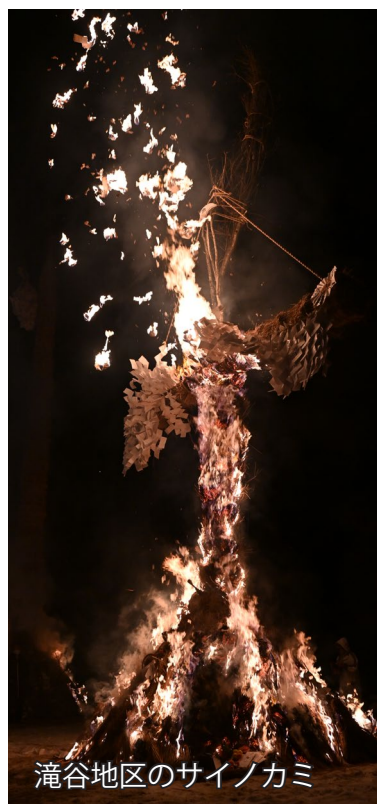
団子づくりの様子



採火式の様子



オンぺづくりの様子



滝谷地区のサイノカミ



三島中生徒による
サイノカミ



松明行列の様子



MCを務めた
ぺんぎんナッツさん



演歌歌手
津吹みゆさん（矢吹町出身）



町内の子供達による鳥追いの再現

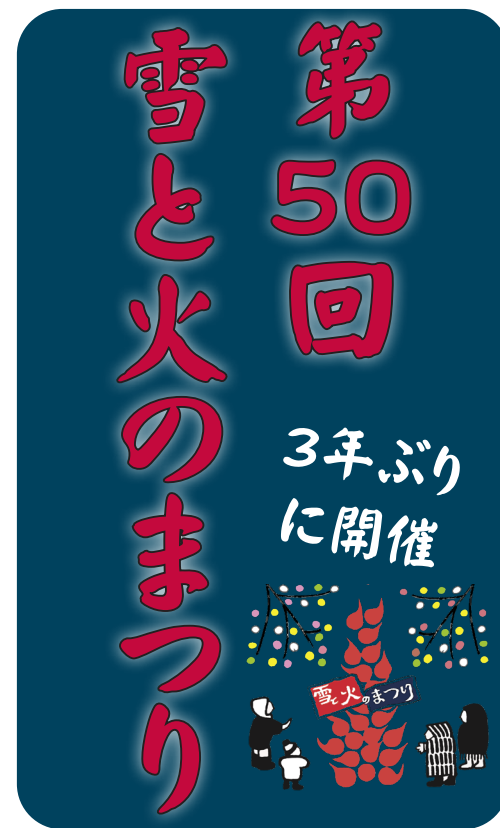
2月18日に町営グラウンドにおいて「第50回雪と火のまつり」が3年ぶりに開催されました。

会場では、伝統行事である「団子さし」「鳥追い」「サイノカミ」の再現、雪国ならではの体験ができるイベントが催され、地元グルメが楽しめる模擬店も多数出店しました。また、お笑いコンビのぺんぎんナッツさんのMCとコントをはじめ矢吹町出身の演歌歌手津吹みゆさんによる演歌ショーも催され、会場を盛り上げました。

夜6時に点火された「サイノカミ」と50回目という節目に上げられたたくさんの花火が、三島町の夜空を彩り、これからの町の明るい未来を灯しているようでした。



【三島のサイノカミ】花火との共演
左から三島中学校作、川井地区作、滝谷地区作



川井地区の皆さん



三島中生徒による
サイノカミづくりの様子



滝谷地区の皆さん

今年一年の無事故を祈願 交通安全合同祈願祭

三島町交通安全合同祈願祭が2月7日、三島神社において執り行われました。町交通対策協議会長の矢澤町長、交通安全協会三島分会五十嵐健二会長、会津坂下警察署増子浩署長ら関係者約10名が参列し、青木基重宮司による祝詞奏上の後、関係機関の代表者が玉串を捧げ、今年1年の無事故を祈願しました。



▲ 玉串を捧げる矢澤町長

大切な命を守るため 消防団員 普通救命講習会

三島町消防団員を対象に普通救命講習会が2月12日、町民センターで行われました。大切な人や家族の命を守る知識と技能を習得するため、会津坂下消防署三島出張所の消防士の皆さんのご指導のもと、各班から受講を希望した25名の消防団員の皆さんが心肺蘇生やAED、異物除去、止血方法などを学びました。緊急時の第一線として期待されます。



▲ 講習会の様子

町民記者通信

子ども歳の神（2月12日）

佐々木 邦雄（桧原）

天候に恵まれて桧原地区の「子ども歳の神」の伝統行事が行われました。全国でも珍しい行事を今に伝えています。午後1時より地区役員を中心に11名の参加で作業が進められ、御神木は1月15日の小正月行事「歳の神」の御神木を再利用し、約半分の6mで作りました。

午後7時に鈴木芳伸区長と子ども代表の片山千愛さん（三島中3年）より点火され、炎は勢いよく燃え上がり、120年以上前より継承されていると推測される伝統行事「歳の神」に今年1年の無病息災・五穀豊穡・コロナウイルスの終息を燃え上がる炎に願いを込めていました。



モニター画面を通して天皇皇后両陛下と交流した桐寿苑入居者の皆さん

1月25日に、天皇皇后両陛下が、お住まいの皇居・御所で、特別養護老人ホーム桐寿苑に入所者されている皆さんとオンラインで交流されました。

両陛下は、令和2年から全国の様々な取組みについてオンラインで視察されており、今回は、桐寿苑が県立博物館と協力して取り組んでいる「回想法（※）」に興味を示され、桐寿苑の視察となりました。

回想法については、県立博物館の主任学芸員の説明により進められ、雪踏み俵やかんじき、すり鉢などを使い、同じ道具を御所にも置かれて懇談されました。道具について陛下は、「とても興味深く、意義深いことですね」と深い関心を寄

※回想法：昔使用していた道具などを用いて、懐かしい記憶を思い出すことで認知機能の改善につなげる取組みのこと。



せられ、また、施設が只見川沿いにあることから、新潟・福島豪雨災害についてもお気遣いされました。

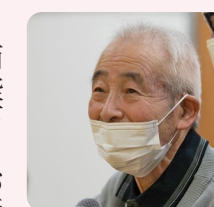
秦千代栄理事長は、只見線が11年ぶりに全線再開通し、会津の人たちが大変喜んでいっていると説明し、両陛下から「沿線の風景が美しいですね」とお言葉をいただきました。予定していた時間を超え、熱心に視察されていました。

両陛下が入所者の方々と時折笑みを浮かべてお話しされ、おやつで出された赤かぼちゃ羊羹や赤かぼちゃについて興味を示されて懇談されている場面がとても印象的でした。入所者に温かく思いやりに満ちたお言葉をかけていただき光栄でした。今後も入所者をはじめとする高齢者が安心して、いきいきと暮らせる地域をつくれるよう関係機関と連携して取り組んでいきたいです。



社会福祉法人
みしま理事長
秦 千代栄さん

両陛下とお話をできたことは生涯の宝。この奥会津地域のことも考えておられ、とても感動しました。



入所者
中丸 一雄さん
（宮下）



にしだ せいや
西田 星弥 (27)

配属先：桐の里産業株式会社（産業建設課）

業 務：①販路拡大に向けた業務

②各 PR 部門に対する戦略立案

③都市住民との交流・体験事業の引率 など



交流体験事業の様子
(桐植栽体験や農業体験
など)

私は、三島町で生産されているものなどの販路を広げていくことを第一の目的として活動しています。今年度は、①販路拡大に向けた業務、②各PR部門に対する戦略立案、③都市住民との交流・体験事業の引率などに注力し、活動してきました。内部外部問わず、様々な関係者の皆さんと打合せを行い、事業の方向性など調整しています。表には見えにくい活動内容ですが、とても重要な役割になりますので、責任を持って仕事をさせていただいています。

活動内容



やまもと たかはる
山本 敬晴 (35)

配属先：地域政策課

業 務：地域循環業務（森林など地域資源を活かした再生可能エネルギーの導入を中心に地域内でヒト・モノ・カネが回る仕組みを検討）

私は、地域循環業務を通して地域内でヒト・モノ・カネが回る仕組みづくりの検討を主に、地球温暖化対策に係る取組みや環境保全に関する活動をしています。

①再生可能エネルギーの導入事業として、昨年度は木質チップを燃料とした小型発電設備の導入を目指しましたが、設備の信頼性や燃料供給面の不安から計画を見直すこととなりました。今年度は、原点に立ち返り、森林資源の活用拡大にはバイオマスも必要と考え、「発電」ではなく「熱供給」として町内の温泉施設に薪ボイラーを導入できるか調査を実施しました。一定以上の熱を利用する施設では、灯油よりもランニングコストを低減できる試算となり、「つるの湯」ではコストメリットを感じられる結果となりました。しかし、薪の投入など運用上の負担が増えることや薪棚などの設置スペース確保が必要なこと等の課題もあり、導入が進められない状況です。施設側の運用負担の低減や燃料を自動投入できるチップボイラーなど対象施設のボイラー設備の方向性を定めていけるよう引き続き可能性を探ります。

活動内容

②地球温暖化対策では、連携協定を締結している国立環境研究所の協力のもと令和4年5月に2050年までに町の二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「三島町ゼロカーボンビジョン」を策定し、「2050ゼロカーボン」を宣言しました。一つのツールとして、森林整備の促進と健全化につなげ、住み良い町づくりに活かしたいと思い、ビジョン策定や各方面への調整などを行ったり、広報みしまにて「地球循環コラム」と題して取組み等を紹介していますので、ぜひご覧ください。



出前講座
町文化祭で展示

③町の文化祭でSDGsに関連したパネルを展示したり、ゼロカーボンに関連した出前講座を開催するなど環境保全に関するPR活動も適宜行ってきました。

三島町での暮らし

志津倉山の会、会津みしま自然エネルギー研究会など町内の様々な活動に参加しています。特に三島町消防団では、7月のポンプ車操法の選手に選ばれ、仲間と共に日々練習を行いました。残念ながらコロナ禍により予選会は中止となりましたが、町内でお披露目する場をいただき、心に残る活動となりました。

「2050年まで町は存続するのか？」など諦めムードのような不安な声を耳にすることがありますが、三島町は魅力的な資源や歴史、文化が培われている地域です。任期後の定住を前向きに検討していきたいと思っていますので、2050年まで町が残ると思い一緒に町づくりに取り組んでいきましょう！

活動を通して見えた課題

1点目は、この事業を進めていく上で、目標や目的意識の不透明さを感じたことです。ざっくりとした既存のゴールはあるものの、重要な明確なゴールがなく事業として実行されていない状況でした。

2点目は、人的要因による能力や時間などの不足です。業務執行には役場の担当職員の方がサポートにつきますが、多岐に渡って様々な業務を担っている中で、特定の業務に専念することが難しく、慢性的になっ

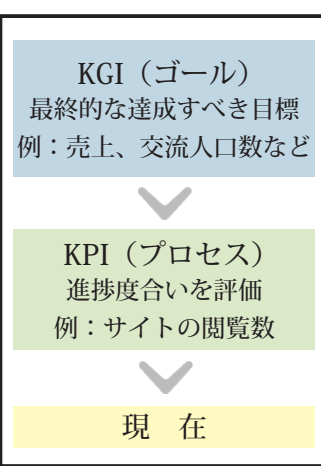
てしまったり、人手不足や時間不足になりやすいことが常態化してしま



次年度の活動

まずは、明確な目標を設定していくことが大事になってくるので、こうしていきたいというザックリとした目標を細切れにし、目標達成のための必要な施策や要因を実行に移し、改善していきます。ゴールを達成するために、関係者の皆さんと意思疎通を図り、連携を強化していくことが大事になってきます。そこから施策を実行し、結果をフィードバックして、実行と検証を重ね、達成に向けて、進捗度合いを管理していくことで、どこがダメなのか、どこが調子がいいのか分かってきます。これらの進捗度合いに応じて、修正や調整をしていくことが来年度の活動になってきます。

私の活動は中々目に見えにくく、わかりやすく説明することが難しいですが、この活動を通して三島町に貢献していければと思います。





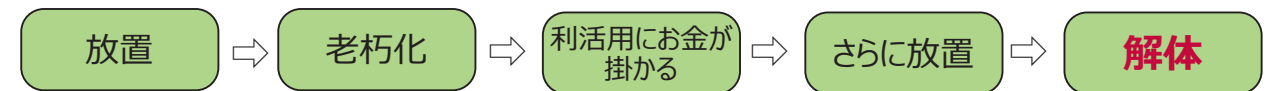
～空き家あるある！～

「空き家に関する思い込み」コラムも、いよいよ最終回となりました。最後は思い込み7・8についてまとめてお伝えします。

本シリーズは、当町の事例に限らず、NPO 法人ふるさと福井サポートセンター主催「空き家確保のための 移住サポータースキルアップ講座」等で学んだことをもとに作成してきました。皆さまのご参考になれば幸いです。

思い込み その7 「近所の人言うことを聞いていけばいいはず」

他地域では、所有者の方が賃貸や売買の決断をし、親戚や近所の方に報告すると「売る／貸すのはまだ早いんじゃないか」「まだ先代が亡くなったなばりなのに…」等言われ、近所の人が言うことに従い、決断を覆すという状況があるそうです。その結果、売れるチャンスを逃し、以下の流れに陥りやすくなります。



三島町では、空き家調査や入居希望者の見学の際に、空き家の近隣の方とお話すると、「ずっと空いたままより、新しい人に入ってもらった方がいい」「電気がつくようになるといい」「管理されずに放置されるなら、解体してもらった方がいい」という声を聞き、空き家の利活用や解体について理解が進んでいると感じていますが、今後ますます増加するであろう空き家に対して、近隣、地区、町全体で「放置するのはよくない」「早めに決断しよう」という雰囲気醸成していかなければなりません。

なお、**解体費は今後ますます高騰すると見込まれています**（理由：①昔と違い分別リサイクルが必要②処分場所が埋まっていくことにより、より遠くまで運搬しなくてはならず、運搬費用が高くなる等）。利活用が見込める場合には、空き家になって早い段階であれば、費用負担が圧倒的に少なくなりますので、早めの決断と行動をおすすめします。

思い込み その8 「空き家バンクに登録すると勝手に事が進みそうで怖い」

他地域では、「空き家バンクに登録したら、役所の人知らない間に契約まで結ぶらしいと聞いたのですが…」という相談があるそうです。空き家バンクの内容がよくわからず、漠然とした不安を抱き、空き家バンク登録に踏み切れない方もいるかもしれませんので、今回改めて本制度についてお伝えいたします。

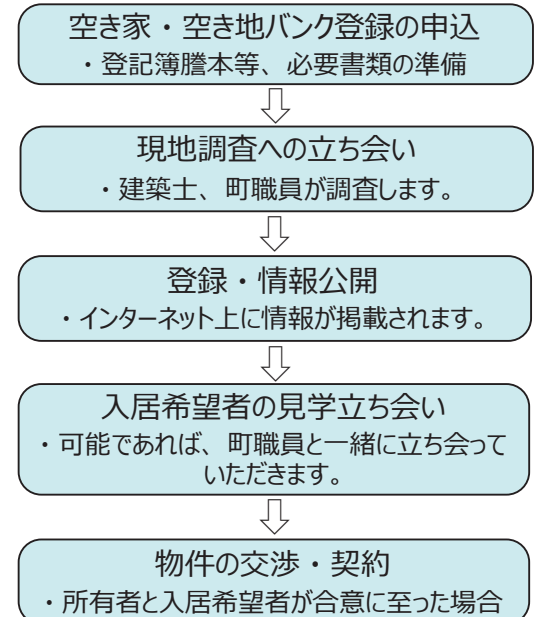
町が本人の確認なしに契約することは一切ありません。 空き家バンクに登録するとホームページ上に物件情報が掲載され、多くの人に閲覧されますが、勝手に契約まで進むことはありません。物件見学から交渉まで、全て所有者の意思のもとで進めます。

また、空き家バンクの制度は自治体によって異なります。お住いの自治体と空き家のある自治体では、必要な書類も手続きも全て異なりますので、必ず空き家のある自治体の空き家バンク制度をご確認ください。

書類の準備や記入の仕方でわかりにくいこともあるかと思うますので、三島町の空き家バンク制度については、以下にお気軽にお問い合わせください。

◆ 空き家に関して、お気軽にお問い合わせください ◆
地域政策課 地域政策係 ☎ (48) 5533

空き家・空き地バンク登録の流れ



登録の流れ



所有者向け Q & A

特別児童扶養手当制度のご案内

町民課町民係 ☎ (48) 5555

特別児童扶養手当とは？

この制度は、身体または精神に中度または重度の障がい有する、20歳未満の児童を監護している父母または父母にかわって児童を養育している人のための制度です。

※次のような場合には手当は支給されません。

- ・ 手当を受けるようとする人、対象児童が日本に住所を有しない場合
- ・ 児童が障害児入所施設などの施設に入所している場合
- ・ 児童が障がい理由として厚生年金などの公的年金をうけることができる場合

手当受給の手続き

手当てを受ける際は、次の書類を添えて請求の手続きをお願いします。

- 1 特別児童扶養手当認定請求書（役場にあります）
- 2 診断書（指定の様式）または療育手帳の写し身体障害者手帳の写し（療育手帳「A」・身体障害者手帳「1・2・3級」の場合は診断書を省略できる場合があります）
- 3 世帯全員分の住民票
- 4 請求者と対象児童の戸籍謄本
- 5 特別児童扶養手当振込先口座申出書（役場にあります）
- 6 預金通帳の写し（通帳は請求者名義のもの）
- 7 世帯全員のマイナンバーカードまたはマイナンバー通知カード
- 8 印鑑

※転入者等の場合は、所得証明書が必要になります。

工芸館だより②② ～ものづくりの伝承～

新作！またたびコーヒードリッパ

ーご参加ありがとうございますー



作業中

町民アカデミー講座にてまたたびを使った「コーヒードリッパづくり」を実施しました。またたび細工といえば、笹が主だと思えますが、新しいもの、面白いもの、使いたいものをつくってみようと三角錐の形に挑戦しました。

工人の館を会場に、初めて館に入るという方や、コーヒー好きの方も参加してください、新しい風を吹き込んでいただいた気持ちがありました。休憩時間には、事前に作成したまたたびドリッパでコーヒーを淹れ、その香りを楽しみながら、会話に花



完成品

町民アカデミー講座開催のお知らせ

「冬の手仕事。ガマ草履」

3月25日④ 午前9時～

受講者募集中！詳しくは問い合わせ先まで。

☎ 三島町生活工芸館 ☎ (48) 5502

森の校舎力タクリ（旧西方小学校）の運動場には昭和七年（一九三二）もしくは八年に建てられた神尾彦之進という人物の徳を称えた頌徳碑があります。

神尾彦之進は、安政六年（一八五九）に会津藩士の子として生まれました。明治八年（一八七五）に金曲村（現猪苗代町）の小学校で訓導補助となり、十年には若松師範学校に入學、その後いくつかの小学校で教鞭をとり、十六年には卯の子という女性と結婚しました。そして二十一年（一八八八）には西方尋常小学校に校長として赴任し、妻と子二人とともに、西方村の山中彌四郎宅の離れに居を構え、後に東京へ移住する小柴又太郎家を借り受けました。妻である卯の子は麴製造・酒・味噌・醤油の醸造、養蚕裁縫を教えるなどして家計を支えたといえます。彦之進は明治三十年（一八九七）、若松女子

小学校転任となって西方を去り、三十八年（一九〇五）に四十八歳で病没しました。彦之進は十年足らずの期間でしたが、校長として西方村の子ども達に多くを学ばせたようです。教え子たちの回想によれば、公平無私の人であり、子ども達の個性をよく観察し、その育成に尽力していたといえます。学校の授業だけでなく、興味関心のある子どもは夜に自宅へと招き、嫌な顔一つせず指導にあたり、多い時には十数人がその夜学に参加したといえます。また子どもに苦手な科目があれば徹底して教えたとも書かれています。彦之進の学術的・精神的な姿勢は、西方村から名古屋高等女学校教諭となった二瓶久米二に「私の今日在らしむるに至ったのは全く神尾先生其人である」といわせています。三十数年後の昭和七年、彦之進の教え子たちが恩師の功績を後世に遺すべく寄附を集め、頌

町史編さん室だより

第86回

西方尋常小学校校長・神尾彦之進

徳碑が建てられることになりました。その篆額は、元会津藩主松平家の子孫であり当時子爵であった松平保雄、選文は西方出身の教え子であり大正大学教授でもあった山ノ内爲之輔でした。町には爲之輔が書いた『神尾彦之進先生伝』が遺されており、彦之進の生涯の歩みだけでなく、頌徳碑台石の運搬の光景や碑文の文面等がわかります。

（三島町史編さん室）

※本文は敬称略

※篆額は石碑の上部等に書かれた表題のこと



▲ 神尾彦之進先生頌徳碑台石運搬之光景
昭和七年十一月一日 西方小学校門前

額篆下 閏男保平松 爵子主藩舊

神尾彦之進先生頌徳碑台石運搬之光景
昭和七年十一月一日 西方小学校門前
篆額は石碑の上部等に書かれた表題のこと

▲ 神尾彦之進頌徳碑文

季節の変わり目 快眠で元気な毎日！

vol.77

健康で元気な毎日！

町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

世界睡眠デーのある3月。「春眠暁を覚えず」といいますが、みなさんよく眠れていますか？

睡眠はどうして大切なのでしょう？

毎晩ぐっすり眠ることで、気候と環境の変化に対応する基礎ができます。生活習慣病の予防や心の安定を保つ役割もあり、心身の健康に大きくかかわっています。

睡眠が不足すると…

不眠によるストレス

ストレスホルモンが分泌され、**血糖値・血圧が上がる**

食欲を抑えるホルモンが減り、食欲を増進させるホルモンが増える

食べ過ぎが肥満につながる

日中の眠気で
ゴロゴロ…

活動量が低下し、**エネルギー消費量が低下**

チェックしてみよう！

- ☐ 夜中に何度か起きてしまう
- ☐ 思ったより早く起きてしまう
- ☐ 寝つきが悪いことが多い
- ☐ よく寝たと感じない

「最近寝不足気味かな…」と感じている方は、この機会に自分に合った方法を工夫して、生活習慣をできることから改善してみましょう。

ぐっすり眠れる習慣づくり

睡眠は心と身体をメンテナンスします。日頃から「睡眠の質」を高める意識を持ちましょう。

昼～夕方

- ・活動的に過ごす
- ・軽い運動やストレッチをする
- ・昼寝をするなら午後3時までに30分以内！

日中に眠くならず元気に活動できたら、質のよい睡眠をとっている証拠です。



保健師より

朝～午前中

- ・毎朝決まった時間に起床する
- ・目覚めたら太陽の光を浴びる
- ・朝食をしっかり噛んで食べる



夜～就寝前

- ・お酒やカフェインは控えめにする
- ・お風呂はぬるめ（38～41℃）にする
- ・就寝2時間前からはスマホ・タブレットを控える
- ・眠くなったら寝床に就き、あれこれ考えない



図書のご案内

町民センターゆめぼけっと

●利用時間

月～金 午前9時～午後9時
土・日・祝 午前9時～午後5時

●お休み

年末年始

問 公民館 ☎ (48) 5599

●今月のおすすめ



おやくそくえほん
はじめての「よのなかルールブック」

監修：高濱正伸

ベストセラー『よのなかルールブック』待望の入門編！どんなことをどう伝えたい？親子で読みたいしつけの絵本。「メシが食える大人」になるための土台として、小学校入学前後に身につけたい42の習慣。

●図書の紹介



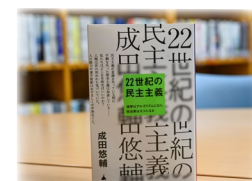
光のここにいてね

著：一穂ミチ



ハヤブサ消防団

著：池井戸潤



22世紀の民主主義

著：成田悠輔



国立環境研究所出前講座・三島町町民講座が開催されました

三島町のみなさま、こんにちは。今回は令和5年1月29日に開催された三島町町民センター大ホールにて行われた第5回目となる国立環境研究所出前講座・三島町町民講座についてご報告します。

不安視されておりました空模様も当日は比較的穏やかになり、会場参加とオンライン参加とを合わせて30名程の方にご参加いただきました、無事に開催することができました。

本講座のテーマは「奥会津におけるゼロカーボンとこれからの山づくり」としており、奥会津地域のゼロカーボン社会の実現に向けた取り組みや、それに欠かせないこれからの山の管理の在り方について等、話題提供や意見交換を行いました。

前半の話題提供では、はじめに国立環境研究所福島拠点より中村主任研究員から国環研がこれまで三島町で行ってきた取り組みの経緯や令和3年度に三島町にて実施した森林所有状況や活用の意向等に関するアンケート調査の結果、森林を適切に管理することで脱炭素社会に向けた効果も期待できるといった森林の役割について等を紹介しました。

続けて、三島町役場から地域おこし協力隊の山本隊員より、昨年に三島町が策定した「三島町ゼロカーボンビジョン」の概要として、生活工芸館への薪ボイラー導入、三島町地域循環共生圏推進委協議会の設立といった三島町が行っているゼロカーボンへ向けた取り組みについて、これからのゼロカーボンシナリオに向けた具体策などについてのお話と、産業建設課の渡辺課長より三島町で行っている森林管理についてのご報告がありました。

前半の最後は会津農林事務所林業課の木村課長から、会津地域の森林整備と今後の展開として会津管内の森林やその整備状況についての説明、木質バイオマス発電所等への利用や公共施設等への利用推進、といった県産材の需要拡大が進んでいることについてご紹介いただきました。



出前講座後半に行われたパネルディスカッションの様子

後半のパネルディスカッションではパネリストに山本隊員と木村課長に加えて、三島町にて国環研と共同研究を行っている東北工業大学の太場教授、三島町民の代表として西方地区の青木区長にもご参加いただき、本講座のテーマである「奥会津におけるゼロカーボンとこれからの山づくり」について意見交換を行いました。

太場教授からはドローンのレーザー測定を使った新しい森林管理の方法について、青木区長からは三島町で長く山と密接に暮らしてきたからこそ実感する山林の恵み、三島町での森林管理の難しさといったことを率直にお話ししてくださいました。また、それらのお話しを受けて会場から質問や意見が出るといった、質疑応答が行われ、参加された方を含めて活発な意見交換の場になったかと思います。

町内の多くの面積を森林が占めている三島町にとって、ゼロカーボン実現のために適切な森林管理を行うことは極めて重要であり、かつその「適切に管理する」ことが大きな課題となっていることが再認識できた講座となったのではないのでしょうか。その問題が解決に向かうように私たちも研究を進めていきたいと考えておりますので、町民の皆様のご理解、ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

〈筆者〉常盤 達彦（ときわ たつひこ）

出前講座に参加した国環研スタッフに九州出身の方がおり、三島町の雪景色にいたく感動しておりました。同じ福島でも中通りと会津では大きく環境が違ふことを改めて実感しました。

●国立環境研究所福島地域協働研究拠点
地域環境創生研究室 ☎0247 (61) 6572

地域循環コラム 第9回

～薪ボイラーの評価について（その2）～

前回、生活工芸館の薪ボイラーにおけるコスト評価の報告をしましたが、今回、新たな導入先候補である「ひだまり」、「つるの湯」の検討状況についてお話したいと思います。なお、当施設を候補とした理由は、年間通して熱が必要な温泉施設であり、尚且つボイラーの老朽化が進んでいることから選定しています。

◆評価方法

前回の生活工芸館薪ボイラーと同様に、システム構成は熱源設備以外を同一とし、熱源設備を薪、灯油（100円/L）、電気（27円/kwh）の3つのケースにて15年（設備のライフサイクル期間）のトータルコストを比較・評価しました。

◆「ひだまり」の検討

前回の生活工芸館薪ボイラーと同じく灯油、薪、電気の順に15年のトータルコストが低くなり、「ひだまり」のボイラーでは、コスト面では灯油が優位にあります。年間運転費でも灯油が一番安く、続いて電気、薪が一番高い結果になりました。

システム名称	薪	灯油	電気
①導入費（補助金適用後）	1,333 千円	900 千円	3,712 千円
②年間運転費	416 千円	235 千円	411 千円
③15年間トータルコスト	7,573 千円	4,425 千円	9,877 千円
	薪システムとの15年間比較	-3,148 千円	2,304 千円

◆「つるの湯」の検討

しかし、「つるの湯」では結果が少し異なります。15年のトータルコストでこそ、灯油が一番優位にありますが、導入費を加味しない年間運転費では、薪が一番コストを低減できる結果となりました。これは、「ひだまり」に比べ「つるの湯」が年間で約14倍の熱需要（142Gcal）があることが要因となっています。

システム名称	薪	灯油	電気
①導入費（補助金適用後）	7,000 千円	1,740 千円	6,682 千円
②年間運転費 ここは薪が優位➡	2,173 千円	2,299 千円	4,938 千円
③15年間トータルコスト	39,595 千円	36,225 千円	80,752 千円
	薪システムとの15年間比較	-3,370 千円	44,527 千円

◆熱需要によっては薪が優位！？

「バイオマスは維持費が掛かる。」こういった印象をお持ちの方も多いと思います。確かに間違いではありません。つるの湯規模の場合だと、薪ボイラーの年間維持費は35万円。他方で、電気や灯油設備の維持費は約15万円と安価です。その一方、燃料費としては薪が一番安価となり、熱需要の高い施設ほどコスト面では優位に働く傾向にあります。さらには、灯油代金が町外に出ていく一方、薪は地域にお金が留まるため、つるの湯規模の熱需要では導入の現実性が増します。

	薪	灯油（100円/L）	電気（27円/kW）
1 Mcal あたりの発熱単価	約 10 円	約 13.5 円	約 35 円

しかし、薪ボイラーには、薪投入などの運用面、さらには薪棚のスペース確保といった課題も多く、つるの湯へ今すぐ導入できる状況ではありません。そのような課題解決を含めて今現在も検討を続けております。

【 地域おこし協力隊 やまとたかほる 山本敬晴 】

町からのお知らせ

ご寄附ありがとうございました（1月分）

ふるさと納税

猪俣博之様（宮城県）
平出智様（福島市）
押山雄三様（大玉村）
他6件

計 68,000 円

3月分納税のご案内

【納期限 3月31日（金）】

- ▼ 国民健康保険税（随期）
 - ▼ 介護保険料（普通徴収）（随期）
 - ▼ 後期高齢者保険料（普通徴収）（随期）
- 忘れずに納付ください。
- ☎ 町民課 町民係 ☎（48）5555

お悔み申し上げます

栗城康一様（71才・西方）
大竹弘一様（64才・滝谷）

町の人口と世帯（2月1日現在）

人口	1,412	増減数	-2	出生	0
男	715		0	死亡	1
女	697		-2	転入	0
世帯	693		-2	転出	1

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

大石田友遊サロン

3月6日（月）
午前10時から
大石田集会所

桧原はつつサロン

3月9日（木）
午前10時から
桧原集会所

川井友愛サロン

3月10日（金）
午前10時から
川井集会所

ひまわりサロン

3月13日（月）
午前10時から
町民センター

大登サロン

3月13日（月）
午前11時30分から
大登生活改善センター

高清水・小山いきいきサロン

3月14日（火）
午前10時から
高清水集会所

サロンなごみ

3月15日（水）
午前10時から
西方ふるさとセンター

間方いきいきクラブ

3月15日（水）
午前10時から
間方集会所

滝谷和楽塾

3月16日（木）
午前10時から
滝谷集会所

サロンないり

3月17日（金）
午前10時から
名入集会所

ほがらかサロン

3月25日（土）
午前10時から
森の校舎カタクリ

※新型コロナウイルスの感染状況により中止する場合もございますので、ご了承ください。

町社会福祉協議会へのご寄附
（ご遺志によるもの）

二瓶仁志様（西方）

☎ 社会福祉協議会 ☎（52）3344

国家公務員採用試験のお知らせ

試験名	申込受付期間	第1次試験日
総合職 （院卒者・大卒程度）	【インターネット】 3月1日（水）9：00～	4月9日（日）
一般職（大卒程度）	3月20日（日）〔受信有効〕	6月11日（日）
一般職（高卒者）	【インターネット】 6月19日（日）9：00～ 6月28日（火）〔受信有効〕	9月3日（日）

申込方法や受験資格等の詳しい内容については、人事院ホームページの「国家公務員試験採用情報 NAVI」又は下記にお問い合わせください。

☎ 人事院東北事務局 第二課 試験係 ☎ 0242（83）3451

宮下病院からのお知らせ

薬の飲み方について

福島県立宮下病院 薬剤師 渡部智浩

町民の皆さんは薬が飲みにくかった経験はありませんか？正しい薬の飲み方を身に着けるだけで、だいぶ楽になります。それでは、正しい飲み方で気を付けるべきことを3つ紹介します。

1つ目はあらかじめ口の中を湿らせること。2つ目は背筋を伸ばし、視線はまっすぐ前を見ること。3つ目は薬を1粒ずつ飲み込むこと。この3つを抑えておきましょう。ほかにも、服薬ゼリーやオブラートを使うことでも薬の味やにおいを軽減してくれるので、飲みやすくなるかもしれません。

最後に、もし薬について悩んでいることがありましたら、宮下病院までお気軽にお問い合わせください。

消防署からのお知らせ

住宅用火災警報器は
設置してから約10年を経過すると
電池切れや交換の時期を迎えます！

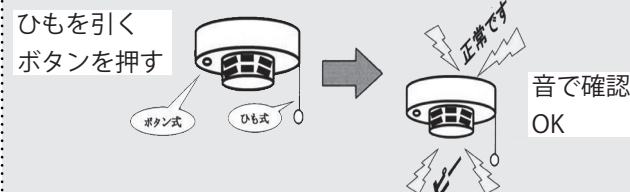


住宅用火災警報器は
維持・管理が大切です！

住宅用火災警報器は
すべての住宅の寝室と寝室が2階以上にある
場合の階段に設置することが義務となっています。

半年に1回は点検をしましょう

点検方法はひも式とボタン式があり、機種によって異なります。取扱説明書を確認しましょう。



音が鳴らない場合
☆電池切れかも→電池の交換、またはセットしなおす
☆故障かも→取扱説明書を参照、または本体を交換する

☎ 会津坂下消防署 三島出張所
☎（52）3032 / FAX（52）3033

福島労働局からのお知らせ

福島県最低賃金が
令和4年10月6日から変わりました

時間額 858円

福島県最低賃金は、常用、臨時、パートタイマー、アルバイト等の名称にかかわらず福島県内の全ての労働者に適用され、使用者は、その金額以上を支払わなければなりません。

最低賃金には、次の賃金は算入されません。

- ※精皆勤、通勤、家族手当
- ※時間外、休日の割増賃金及び深夜手当
- ※臨時に支払われる賃金、1か月を超える期間ごとに支払われる賃金

詳しくは、福島労働局労働基準部賃金室（Tel 024-536-4604）又は各労働基準監督署へお問い合わせください。

会津坂下警察署からのお知らせ

警察署からの最新情報！
「POLICE メールふくしま」

「POLICE メールふくしま」では、このような情報を発信しています。

- ★会津坂下警察署管内の交通取締り実施予定
→実施日時、実施場所、取締り内容など
 - ★なりすまし詐欺の発生情報
→発生した詐欺の手口、内容、注意事項など
 - ★不審者情報
→発生日時、発生場所、不審者の外見の特徴など
- この他にも、福島県警察官の募集情報、熊の出没情報、警察署の各種キャンペーン情報などを発信しています。ぜひ活用してください！



左のQRコードを読み込み、空メールを送信すると登録手続きに進むことができます。「なんだか難しそう…」「上手くできない」という場合には、会津坂下警察署や最寄りの駐在所にお気軽にお問い合わせください。

☎ 会津坂下警察署警務係 ☎ 0242（83）3451

2月23日に町営スキー場にて、公民館主催の「すってんコロナピック」が2年ぶりに開催されました。
約60名の方が参加し、雪上綱引きや雪玉ストラックアウトなど雪国ならではの「遊び」と多くの豪華な景品が用意され、子どもも大人も楽しいひと時を過ごしていました。

令和4年度 すってんコロナピック

超みかんまき



ぞい乗りレース



すっころ雪上綱引き



雪玉ストラックアウト



ゲレンデ逆走レース



町長日記 第50回 雪と火のまつり

No. 89

報道機関の発表から推察するとコロナ感染症は、完全にではないが、インフルエンザ並に収束の方向に向かっていると感じます。

各市町村が、イベントの復活に躍起になっている中、観光という視点も大切ですが、私は「文化観光」という視点で文化振興を核とした地域振興策を一番大切にしていくな

必要があると考えます。「雪と火のまつり」は文化観光という視点で見れば、観光の中に町民の暮らしと生き方を再現しており、来客者に感動を与えるものであると確信しています。

サイノカミの種火を灯す「採火式」の石をこす

る「カチ・カチ」という音が見学された皆さんに感動を与え、半世紀に渡り開催されてきた「雪と火のまつり」で夜空に浮かぶサイノカミの火が心に強く焼きついたでしょう。

この文化が、三島の精神、三島のプライドであり、持続可能な地域、三島町を創ることだと考えます。

三島町長 矢澤 源成

